

平成 27 年 8 月 31 日

関係各位

特定非営利活動法人
NPO スチューデント・サポート・フェイス事務局長
兒玉 陽子

プロフェッショナル 仕事の流儀

第 275 回「寄り添うのは、傷だらけの希望」放映後の対応等についてのお知らせ
(暫定版)

この度は、S.S.F.代表の谷口が出演しております番組をご覧頂き誠にありがとうございます。放映前の段階にも関わらず、先週の予告段階から多数のご相談、お問い合わせ、激励のお言葉をお寄せ頂いております。事務局一同、改めてアウトリーチ活動の必要性を実感すると共に、全国各地からお寄せ頂く激励のお言葉に気が引き締まる思いです。

現在、複数回線設けて鋭意対応を行っておりますが、時間帯によっては電話もつながりにくくなっていることから、放映後の相談活動への影響を軽減するため、お問い合わせが予想される下記の事項について急遽、お知らせを作成致しました。書式等も整えきれず、暫定的な内容で大変恐縮ですが、事務局にご一報頂く際は予めご高覧頂ければ幸いです。

なお、今後の状況を踏まえ、お知らせは適宜改定を行いますのでご了承下さい。

《NHK プロフェッショナルの出演者について》

- ・今回の取材に当たっては、関係機関との協議及び特別な許可の下、相談施設内に撮影の趣旨・目的について事前掲示を行った他、対象となった相談者及びご家族、関係者の皆様には、直接、NHK 担当者も交えた説明を行い、承諾を得た後に撮影・放映を行っています。
- ・撮影にご協力頂いた皆様に関しましては、NHK 担当者との慎重な協議の下、個人や住所等の特定につながる情報に関して削除等の措置を講じた他、モザイクの有無や方法等に関しても当事者の皆様の意思の確認の下、NHK サイドには徹底したご配慮を頂いています。
- ・「うちの近所の子ども（家族）ではないか?」、「同じ当事者なので連絡を取りたい」等のご出演頂いた皆様に関するお名前やご住所等のお問い合わせに関しては、個人情報保護の観点及び出演者との申し合わせから一切お応えできませんので、予めご了承下さい。

《撮影にご協力頂いた全国各地の皆様へ》

- ・足かけ約 4 か月間に及ぶ取材においては、たくさんの皆様にご協力頂きましたが、残念ながら番組の構成や編集の都合上、その多くが本編での放映には至らなかったとのことです。しかしながら皆さまから頂いた貴重なインタビューや様々な相談活動の映像、公

的委員会や講演会の様子は、当該分野の支援の重要性の理解を促すものであり、番組制作の際もその前提となる S.S.F.の活動の信頼性を支える根拠となった他、番組内容の決定の際も重要な示唆を与えて頂いたと NHK 担当者の皆様からも謝意と共にご説明頂きました。ご協力頂いたすべての皆様のご厚情に事務局一同、心から感謝申し上げます。

《今後の報道対応について》

・S.S.F.としては、今回の取材をお受けした背景として、孤立する子ども・若者の現状とこれを支える子ども・若者支援、生活困窮者支援分野の取組、とりわけアウトリーチの有用性を広く行政関係者にご理解頂く必要があるとの判断から特別にお受けしたものです。

・今後も当該施設においては、相談者及びご家族、関係者の皆様の利益を最優先に考え、個人情報保護や守秘義務履行の徹底を図ると共に、当事者の皆様への通知や承諾なく報道機関による撮影を許可することはございませんので、安心してご利用下さい。

《E メールや手紙でのご相談について》

・S.S.F.が行う相談活動は、限られた人員体制の中で年間3万件を超えるご相談に対応するため、関係機関との積極的な連携と適切な役割分担の下、アウトリーチを中心とした子ども・若者への直接的な対応に特化した活動を実施しています。

・アウトリーチの実施に当たっては、事前に保護者及びご家族等関係者との面談を通じた認識の共有のためのやり取りの後、正式な申し込みを頂く形となっており、たとえご本人が申し込まれる場合であっても原則、電話等を通じた複数回のやり取りが事前により必要となります。

・S.S.F.がお受けしているご相談は、生命に関わる重大なものも少なくないため、電話等即応できる手段が必須であり、また、関係性重視の活動のため、感情や意図、ニュアンスを伝えることが難しい E メールや手紙でのご相談は、アウトリーチを前提とした初期相談においては困難を伴います。

・現在、本編放映前にも関わらず全国各地からご相談並びにお問い合わせを頂いている状況で複数回線を設け、スタッフ一同、鋭意対応させて頂いておりますが、電話でもつながりにくい状況になっており、代表のアドレスを中心に法人全体で一日数百通のメールが届いている状況です。今後、E メールや手紙でご連絡頂いたとしても返信等ができない場合もございますので予めご了承ください。

《県外の皆様からのご相談について》

・S.S.F.が実施するアウトリーチは、訪問を受ける子ども・若者との信頼関係の構築が前提となっているため、導入に当たっては、法令に基づく危機対応等一部の場合を除き、事前準備には保護者及び関係者との面談、支援者とのマッチングなど相応の期間を要します。

・S.S.F.がお受けする年間3万件の相談件数に象徴されるように、番組内で取り上げられた

アウトリーチ（訪問支援）は、極めてニーズが高く、相談スタッフの不足から県内であっても地域や相談内容によっては、派遣まで1年以上お待ち頂いているケースもございます。

・S.S.F.では、一人でも多くの子ども・若者を支えられるようにと活動資金の確保についても懸命に取り組んでいるところですが、平成27年度は行政改革による委託事業費の削減や新制度の施行に伴う一部自治体の混乱で基盤事業を失うなど昨年度と比べ厳しい人員体制及び財政状況の下での相談活動となっており、一定の限界が生じています。

・アウトリーチによる支援が効果を上げるためには、共有した悩みや課題の解決だけでなく、訪問開始後、日々起こる心境や状況の変化等への対応など継続的かつ日常的な関わりが必要であるため、県外など物理的な距離等が離れている場合は十分な対応ができない可能性があります。

・今回の放映された内容の支援はボランティアで実施するNPO活動を組み合わせたものであり、すべてを同じように実施できるわけではありませんが、全国各地に「地域若者サポートステーション事業」、「子ども・若者総合相談センター」や「生活困窮者自立支援法」に係る各種相談支援事業が展開されており、各地域で特色ある取り組みが実施されています。

・これらの公的な取組は、お一人おひとりの状態、地域のニーズに応じたきめ細かな対応を可能とするため、国や自治体によって支援対象地域が限定されており、S.S.F.が受託する地域（地域若者サポートステーション事業、佐賀県子ども・若者総合相談センターは佐賀県全域、生活困窮者自立支援法に係る窓口は佐賀市）以外での相談活動は、委託契約等によって制限があります。

・前述の事情から対象外の地域からのご相談に関しては、S.S.F.のNPO活動として何かしらお手伝いができるかどうかと一緒に検討させていただきますが、ほとんどの場合、該当地域の相談窓口や関連する支援制度等をご紹介させて頂くなど間接的な支援となります。県外からのご相談の際は予めご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

今回お寄せ頂いた皆様からのご厚情を胸に刻み、一人でも多くの当事者の社会参加・自立に寄与するため、S.S.F.事務局一同、粉骨砕身、活動に専心致しますと共に、関係機関との責任ある役割分担と積極的な連携協力の下、社会的孤立・排除を生まない希望ある地域支援体制の確立に向け、発展的に取り組みを進めていく所存です。つきましては、係る事情をご賢察の上、ご理解ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

以上